

開運温泉・楽市楽座

◆事業の目的・背景

令和2年度は、チャレンジ事業支援金を活用し、毎月26日を「26（ふろの日）」に定め、秋宮前・綿の湯跡・児湯・高札広場の4箇所でイベントを実施した。

現在の風呂の日については、まだまだ地元の方の来る頻度が低いため更なる周知が必要と感じる。

令和3年度は、「綿の湯伝説」を記したカード及び、商品用シールの作成、また、協力店舗の目印になるような「ロゴ入りフラッグ」を揃え、イベント実施及び周知を高める。



◆チャレンジ事業支援金の活用実績

活用年度	事業内容	支援金額
令和2年	・毎月26日を「風呂の日」と定め、秋宮前観光案内所、綿の湯跡、児湯、高札ひろばにてイベントを実施。 ・「風呂の日」を周知するため、法被やのぼり旗、看板を作成。	450,000円
令和3年	・令和2年度と同様、毎月26日にイベントを実施。 ・「風呂の日」、下諏訪温泉の周知のため、綿の湯伝説シール・カードの作成、フラッグの作成。	316,000円

◆事業成果

- ・商品を手にとった際、作成したシールやカードの「綿の湯」という文字が目に入り、「綿の湯」に関心を持っていただくきっかけとなった。
- ・令和2年度に作成した「のぼり旗」がサイズ的に設置できない店舗があったが、今回作成したフラッグは、サイズ的にコンパクトで店内への設置も可能となり、イベント実施日以外も設置してもらえるようになった。

◆工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・毎月26日（ふろの日）の出店で販売を行っていたが、コロナの影響により出店が出来なくなると販路が絶たれてしまうため、出店以外にも販売先を増やす必要がある。
- ・チラシについては、内容の更新月を決めて作成をし、イベントの周知を継続して行っていく。